



IPv6 CNS エージェント

Cisco Networking Services (CNS) サブシステムでは、IPv6 アドレッシングがサポートされています。CNS は、ユーザをネットワーク サービスにリンクするための基盤テクノロジーであり、多数のネットワーク デバイスの自動設定に対応するインフラストラクチャを提供します。このマニュアルでは、IPv6 でサポートされている CNS エージェントについて説明します。

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [IPv6 CNS エージェントに関する情報, 1 ページ](#)
- [その他の関連資料, 3 ページ](#)
- [IPv6 CNS エージェントに関する機能情報, 4 ページ](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、『[Bug Search Tool](#)』およびご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

IPv6 CNS エージェントに関する情報

CNS エージェント

Cisco Networking Services (CNS) サブシステムでは、IPv6 アドレッシングがサポートされています。CNS は、ユーザをネットワーク サービスにリンクするための基盤テクノロジーであり、多数

のネットワークデバイスの自動設定に対応するインフラストラクチャを提供します。多くのIPv6ネットワークは複雑で多くのデバイスが存在し、各デバイスを個別に設定する必要があります。標準設定が存在しない場合、または変更されている場合は、初期インストールとその後のアップグレードにかなりの時間がかかります。ISPには、部分的な設定を送信して新しいサービスを導入するための手段が必要です。

これらのすべての問題に対処するために、CNSは、中央のディレクトリサービスと分散型エージェントを使用した「プラグアンドプレイ」ネットワークサービスを提供するように設計されました。CNS機能には、CNSエージェントとフロースループロビジョニング構造が含まれます。CNSフロースループロビジョニングは、CNSの設定エージェントとイベントエージェントを使用してワークフローを自動化するため、オンサイト技術者は必要なくなります。

IPv6アドレッシングでは、ここで説明するCNSエージェントがサポートされます。

CNS 設定エージェント

CNS設定エージェントは、シスコデバイスにおける初期設定とその後の部分的な設定に関与しません。CNS設定エンジンを使用して、シスコデバイスの初期設定、増分設定、および同期された設定アップデートを自動化するための手段を提供します。設定エンジンは、設定のロードステータスをイベントとして報告し、ネットワークモニタリングまたはワークフローアプリケーションはそのイベントをサブスクライブできます。

CNS イベント エージェント

CNSイベントエージェントは、他のすべてのCNSエージェントに対してCNSイベントバスへのトランスポート接続を提供します。CNSイベントエージェントが動作し、設定エンジンとデバイス間の接続が正常に確立されるまでは、イベントを設定エンジンによってデバイスに送信できません。

イベントエージェントはCNS設定エンジンを使用して、シスコデバイスの初期設定、増分設定、および同期された設定アップデートを自動化するための手段を提供します。

CNS EXEC エージェント

CNS EXEC エージェントを使用すると、リモートアプリケーションは、コマンドが含まれるイベントメッセージを送信することによって、シスコデバイス上でCLIコマンドをEXECモードで実行できます。

CNS イメージ エージェント

シスコデバイスの大規模なネットワークを保持する管理者には、イメージファイルを多数のリモートデバイスにロードするための自動化されたメカニズムが必要です。ネットワーク管理アプリケーションを使用すると、実行するイメージやシスコオンラインソフトウェアセンターから受信したイメージの管理方法を決定できます。他のイメージ配布ソリューションは、数千のデバイスに対応するように拡張されず、ファイアウォールの背後にあるデバイスやネットワークアドレス変換(NAT)を使用したデバイスにイメージを配布できません。CNSイメージエージェン

トを使用すると、管理対象デバイスは、ネットワーク接続を開始したり、イメージダウンロードを要求したりできるため、NAT を使用したデバイスやファイアウォールの背後にあるデバイスはイメージサーバにアクセスできます。

CNS イメージエージェントは、CNS イベントバスを使用するように設定できます。CNS イベントバスを使用するには、CNS 設定エンジンでCNS イベントエージェントをイネーブルにし、CNS イベントゲートウェイに接続する必要があります。CNS イメージエージェントは、CNS イメージエージェントプロトコルを認識する HTTP サーバを使用することもできます。CNS イメージエージェントの動作の展開では、CNS イベントバスと HTTP サーバの両方を使用できます。

その他の関連資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
IPv6 のアドレス指定と接続	『 <i>IPv6 Configuration Guide</i> 』
Cisco IOS コマンド	『 Cisco IOS Master Commands List, All Releases 』
IPv6 コマンド	『 <i>Cisco IOS IPv6 Command Reference</i> 』
Cisco IOS IPv6 の機能	『 Cisco IOS IPv6 Feature Mapping 』

標準および RFC

標準/RFC	タイトル
IPv6 に関する RFC	<i>IPv6 の RFC</i>

MIB

MIB	MIB のリンク
	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポートおよびドキュメンテーション Web サイトでは、ダウンロード可能なマニュアル、ソフトウェア、ツールなどのオンラインリソースを提供しています。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

IPv6 CNS エージェントに関する機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: IPv6 CNS エージェントに関する機能情報

機能名	リリース	機能情報
IPv6 CNS エージェント	12.2(33)SB 12.2(33)SRC 12.2(50)SY 12.4(20)T Cisco IOS XE Release 3.9S	<p>CNS 設定エージェントおよびイベントエージェントは、CNS 設定エンジンを使用してシスコデバイスの初期設定、差分設定、および同期設定の更新を自動化するための方法を提供し、設定エンジンは、設定ロードのステータスをネットワーク モニタリングまたはワークフローアプリケーションが加入できるイベントとして報告します。</p> <p>追加または変更されたコマンドはありません。</p> <p>Cisco IOS XE Release 3.9S では、Cisco CSR 1000V のサポートが追加されました。</p>

